

行動する 青年部・女性部

魅力ある地域づくりを

目指して！

〜県下女性部員の気くばり隊活動〜

青森県商工会女性部連合会

東北新幹線全線開業を機に 気くばり隊を結成

女性部が女性の特性を活かして、地域振興と発展のためにさまざまに取り組んでいるのは、どこも同じではないでしょうか。青森県でも、女性部員それぞれが可能な範囲で、地域活性化や奉仕活動を一生懸命に頑張っています。青森県には、2010年12月の東北新幹線全線開業に伴い、新青森駅と七戸十和田駅ができました。県女性連理事会では、新幹線開業を「青森を見つめ直すよい機会」と捉え、「私たちももっと地域に貢献する活動をして、み

んなに知ってもらう必要があるのではないか」と協議を重ねました。「観光客向けのことを考えよう」「県下統一したものをやっては？」「あまり大きなことだと続けられなくなる」「一過性にならないものにしよう」など、いろいろな意見が出されました。その結果、商人のおかみさんパワーをフルに結集して県内全域を盛り上げようと、統一ジャンパーを作ることにしました。委員会を組織して検討し、『県をあげて人よりちょっと親切で、人よりちょっと優しく接し、気くばりと思いやりの心をもって、お客様がまた来たくくなるような魅力ある地域づく

りを目指す」との理念を掲げ、県内全女性部員による「気くばり隊」を結成。統一ジャンパーを着用して地域に尽くす活動をしていくことになりました。

平成22年5月、県女性連通常総会で結団式を行い、気くばり隊がお披露目されました。結団式では、深浦町商工会女性部の宮本千恵子部長を隊長として結団宣言をし、気くばり隊信条を述べた後、「がんばろう」を三唱して今後の活躍を互いに誓い合いました。

気くばり隊信条

- 一. 明るい笑顔で接します
- 一. 出合いに感謝します
- 一. お客様の喜びは私たちの幸せです

北海道や東京で 青森県PR活動を実施

気くばり隊の結成から、各地域で「商工会の日」に行われる奉仕活動や商店街売り出しなどの来客対応の際には、部員はピンクの統一ジャンパーを身に着けて笑顔で接しました。統一ジャンパーも「ショッキングピンクがきれい」「統一マークのリングが青森県ら



開業当日の七戸十和田駅で、横断幕を掲げて乗客を出迎えた



県外PRでは、特産品や観光パンフレットを袋に入れて配布

しい」ととても好評で、部員は張り切って従事することができました。

7月には北海道札幌駅で、青森県PR活動を行いました。特製の袋に観光パンフレットと特産品を入れたものを1000部配布したのですが、駅利用客はみな急ぎ足で声掛けもままならない様子で歩いていきます。初めはみんな「ホントにPRできるかしら?」「怒られないかしら」「ゴミ箱に捨てられたらショック」と不安な気持ちでした。しかし、そこは人生経験豊富で数々

の荒波を乗り越えてきた集団です。「青森県を代表して魅力をPRしましょう」とみんなで声を掛け合い、気合いを入れて駅コンコースに散っていきました。

結果は「へえ青森から来たんですね? 私のお親戚も青森なんですよ!」「珍しいものが入っているね」などと好意的に受け取っていたが、ニコニコと袋の中をのぞいたり、わざわざ費いにくてくれたりと、最初の不安はどこ吹く風で、30分もしないうちに楽しく活動ができました。とても気持ちよかったです。

11月には東京の上野駅で同様の活動をしました。ちょうど開業1週間前で、しかも上野駅は停車駅です。JRのご厚意により駅広小路コンコースや広場をお借りし、前回の活動で度胸もついたことで、所狭しと歩き回って笑顔でPRすることができました。こちらも30分足らずで終了し、みんな充実感でいっぱいになりました。

おもてなしの心でお出迎え

いよいよ東北新幹線全線開業の日が

やってきました。観光客を地元青森でおもてなしする本番です。県内全域から新青森駅と七戸十和田駅に集まって観光客をお出迎えすることにしました。遠くは3時間もかけて駆けつけた女性部もあります。恒例となった統一ジャンパーを着て、この日のために作った横断幕を掲げ、それぞれが地元から持ち寄った観光パンフレットを片手に、ホームやコンコースでお出迎えをしました。県外活動の経験が効を奏し、声掛けもバッチリ。元気にお出迎えができました。観光客から記念撮影を依頼されて「モデル」のような気分を味わう部員もあり、とても楽しく活動することができました。

また、新青森駅では青森市浪岡商工会女性部が「けの汁」、七戸十和田駅では七戸町商工会女性部が「けいらん」という郷土料理を振る舞いましたが、どちらもあつという間になくなりました。すべてがうまくいったかのようにみえましたが、ちよつと残念なことがありました。それは観光客からの「〇〇行のバスはどこから出ますか?」「トイレはどこですか?」といった質問にうまく対応できなかったことです。

私たちからすれば駅開業の一協力者



新青森駅でも、統一ジャンパーを着用して笑顔でお出迎え

のつもりで参加していても、観光客から見れば統一ジャンパーを着た出迎えスタッフだったのです。それぞれが青森県の『顔』だったのです。これは自身の商売にもつながることであり、大変勉強になった出来事でした。

春から青森県はいよいよ観光シーズン本番です。「人よりちよつと親切で、人よりちよつと優しく接し、気くばりと思いやりの心をもって、お客様がまた来たくなるような魅力ある地域づくりに目指す」。このことを肝に銘じ、気くばり隊信条を心に刻みながら笑顔でおお客様をお出迎えしたいものです。